

財政収支(1-6月)

(1) 1-6月の歳入は前年同期比48.6%増、税収は同55.0%増。歳出は前年同期比101.7%増。
 (2) 結果として1-6月の財政収支は4,832.28億リラの赤字(前年同期比616.5%増)、プライマリーバランスは2,079.84億リラの赤字(同191.1%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-6月(A)	2023年1-6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	12,654.10	18,803.49	48.6%
税収	10,337.91	16,023.12	55.0%
所得税	1,392.37	2,591.23	86.1%
法人税	2,630.14	2,907.68	10.6%
付加価値税(国内及び輸入)	3,292.02	4,847.31	47.2%
特別消費税	1,653.76	3,250.68	96.6%
その他税収	1,369.62	2,426.22	77.1%
税外収入等	23.16	27.80	20.0%
歳出(b)	11,718.51	23,635.77	101.7%
人件費	2,584.60	5,574.35	115.7%
物品及びサービスの購入	837.71	1,641.19	95.9%
経常移転	4,901.53	10,463.92	113.5%
資本支出	651.18	1,336.54	105.2%
支払利子(c)	1,346.54	2,752.44	104.4%
その他歳出	1,396.95	1,867.33	33.7%
財政収支(a-b)	935.60	▲ 4,832.28	▲ 616.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	2,282.13	▲ 2,079.84	▲ 191.1%

経常収支(2023年1-5月)

(1) 2023年1-5月の経常収支は、376.96億ドルの赤字(前年同期は261.40億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-5月の貿易収支(物品)は468.74億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は114.70億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

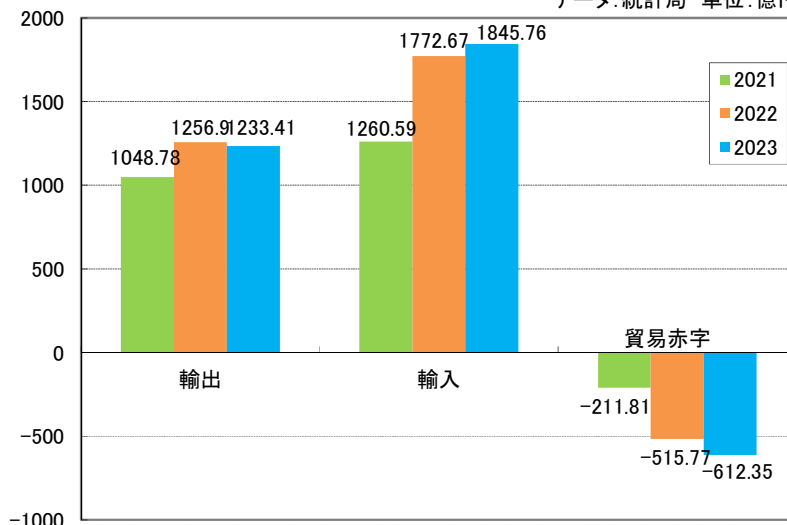
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-5月(A)	2023年1-5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 261.40	▲ 376.96	▲ 44.2%
貿易収支(物品)	▲ 344.76	▲ 468.74	▲ 36.0%
サービス収支	130.03	144.45	11.1%
旅行収支	102.73	114.70	11.7%
第1次所得収支	▲ 40.84	▲ 51.90	▲ 27.1%
第2次所得収支	▲ 5.83	▲ 0.77	86.8%
労働者送金	1.03	1.08	4.9%
資本移転等収支	▲ 0.14	▲ 0.74	-
金融収支	▲ 163.25	▲ 514.60	▲ 215.2%
直接投資	▲ 34.42	▲ 20.03	41.8%
証券投資	98.82	29.47	▲ 70.2%
その他投資	▲ 123.77	▲ 133.81	▲ 8.1%
外貨準備	▲ 103.88	▲ 390.23	▲ 275.7%
誤差脱漏	98.29	▲ 136.90	▲ 239.3%

貿易収支(1-6月)

(1) 1-6月の輸出額は1,233.41億ドル(前年同期比1.87%減)、輸入額は1,845.76億ドル(同4.12%増)となり、この結果、貿易収支は612.35億ドルの赤字(同18.73%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-6月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.1%(前年同期は42.4%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は28.1%(前年同期は25.8%)となっている。

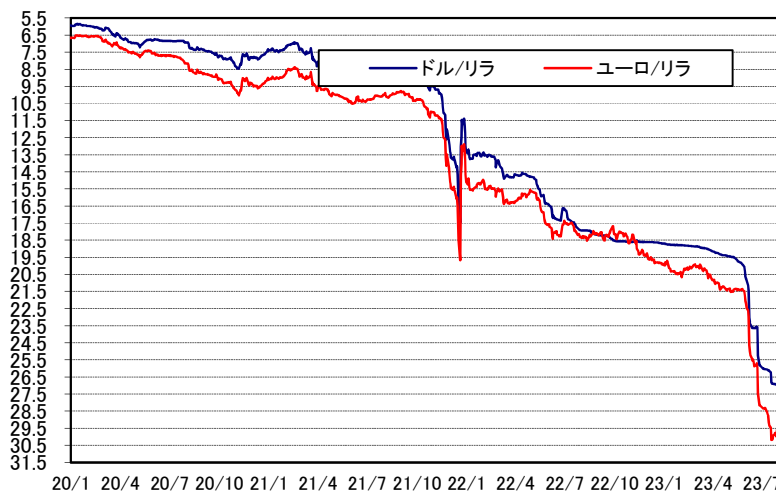
データ:統計局 単位:億ドル



為替(7月)

引き続きリラ安傾向にあり、7月20日、トルコ中央銀行は利上げを実施したものの勢いは止まらず、対ドル・ユーロ共に史上最安値を更新。月末は1ドル=26.93リラ(前月末比4.1%安)、1ユーロ=29.69リラ(同5.2%安)となった。

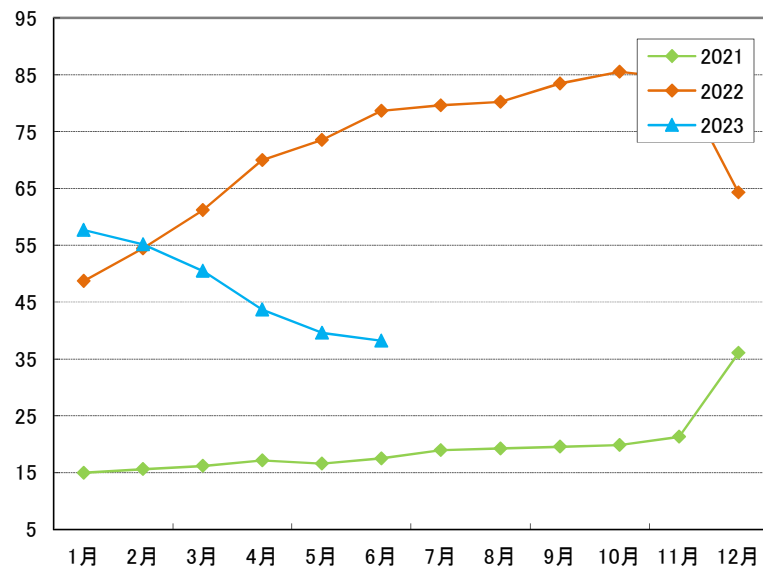
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(6月)

- (1)6月の消費者物価は前年同月比38.21%増、前月比3.92%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比67.22%でホテル及び飲食店が、前月比11.13%でアルコール飲料及びたばこが最も上昇した。
- (3)2023年末のインフレ率の中銀目標(7/27時点)は前年同月比58%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比40.42%増、前月比6.5%増となった。

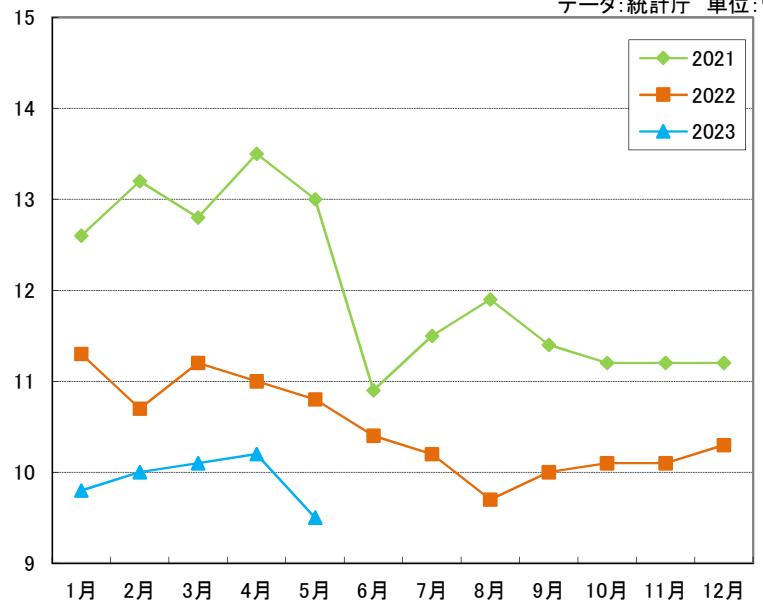
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(5月)

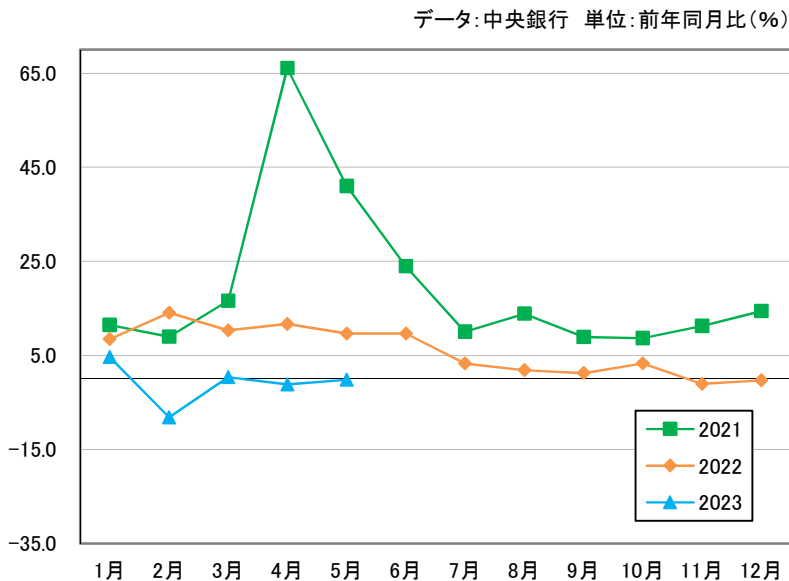
- (1)5月の失業率(季節調整後)は9.5%となり、前月から0.5ポイント減少。
- (2)労働力人口は3,504.4万人、就労者数は3,171.6万人、失業者数は332.8万人。
- (3)男性の失業率は7.7%、女性は13.0%。若年層(15-24歳)の失業率は17.0%となっている。

データ:統計庁 単位:%



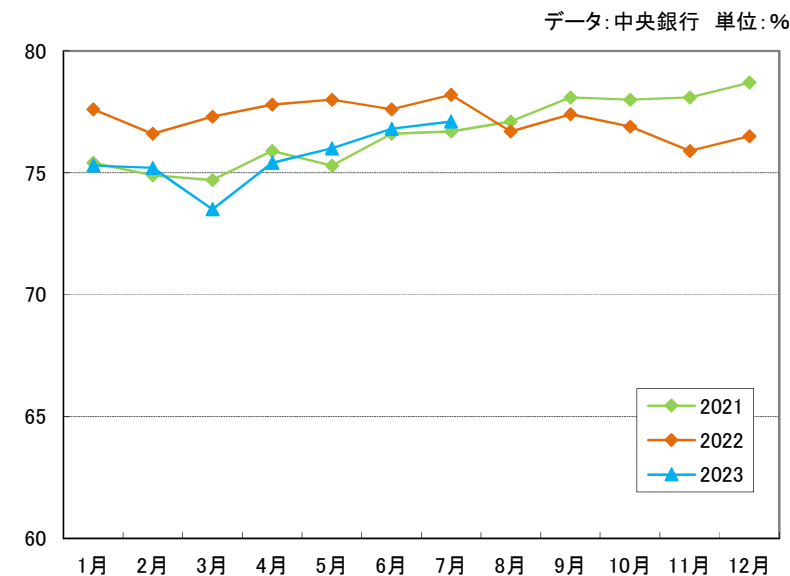
鉱工業生産(5月)

(1)5月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.2%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比11.8%増、資本財が同18.1%増、中間財が同5.5%減となった。



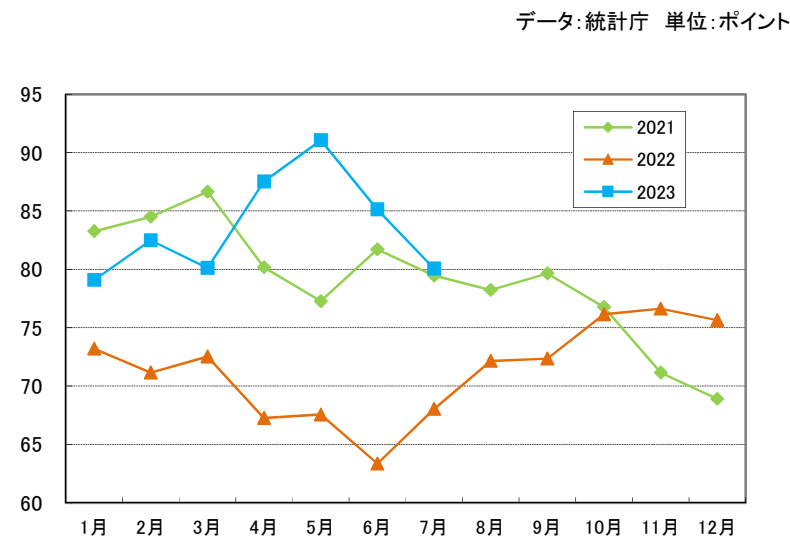
設備稼働率(7月)

(1)7月の設備稼働率は77.1%となり、前年同月から1.1ポイント減少し、前月から0.3ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、自動車、トレーラ及びセミトレーラ製造業(82.6%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(67.5%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(7月)

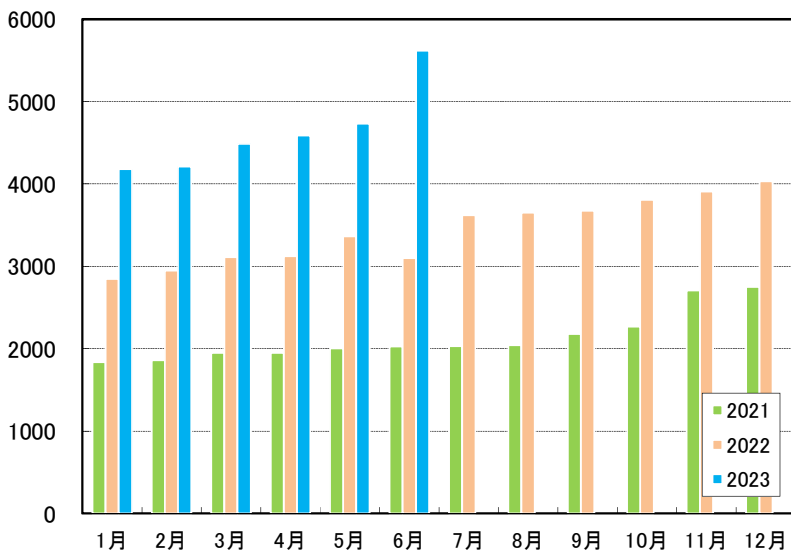
(1)7月の消費者信頼感指数(季節調整値)は80.1ポイントで、前月から5.0ポイント減少。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から減少し、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇した。



中央政府債務残高(6月)

(1)6月末時点での中央政府債務残高は5兆6,174億リラとなり、前年同月比81.2%増、前月比18.7%増となった。
 (2)また、国内債務比率は45.9%、自国通貨債務比率は32.9%(2022年末は34.5%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

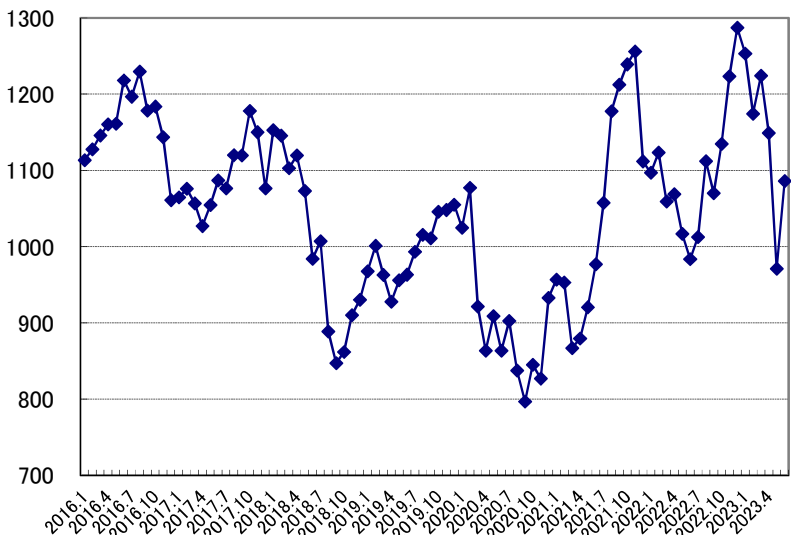
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(6月)

(1)6月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,085.80億ドルとなった。
 (2)前月から115.00億ドル上昇した。

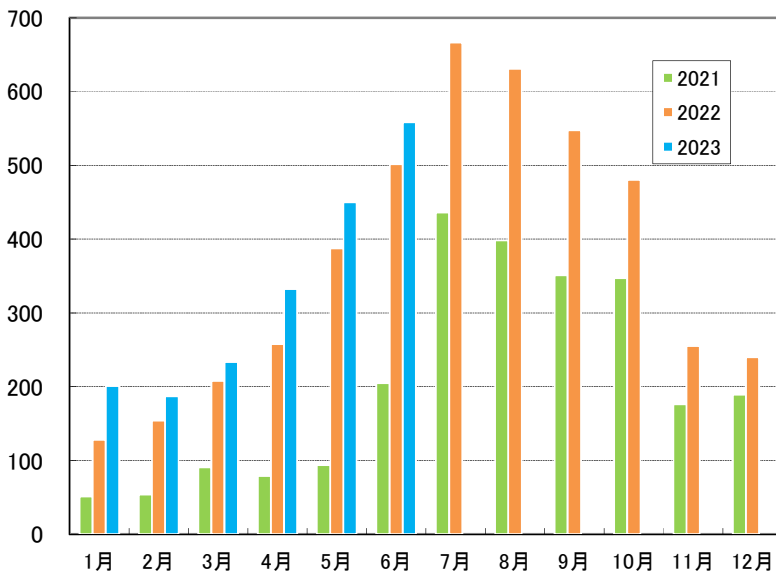
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(6月)

(1)6月の外国人訪問者数は5,584,021人で、前年同月比11.35%増。日本は5,972人であった(前年同月は2,552人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、819,844人で全体の14.68%を占め、以下、ドイツ(686,174人)、イギリス(507,037人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

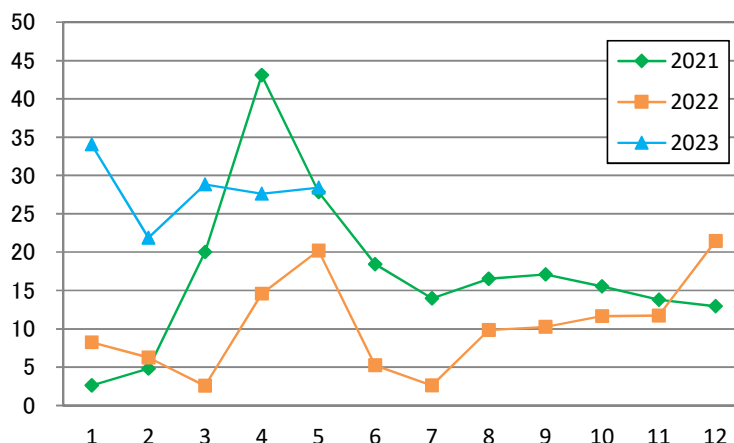


小売売上高(5月)

(1)5月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)28.4%増、前月比(季節及び日数調整後)2.1%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比22.6%増、繊維・衣料が同13.9%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同73.4%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

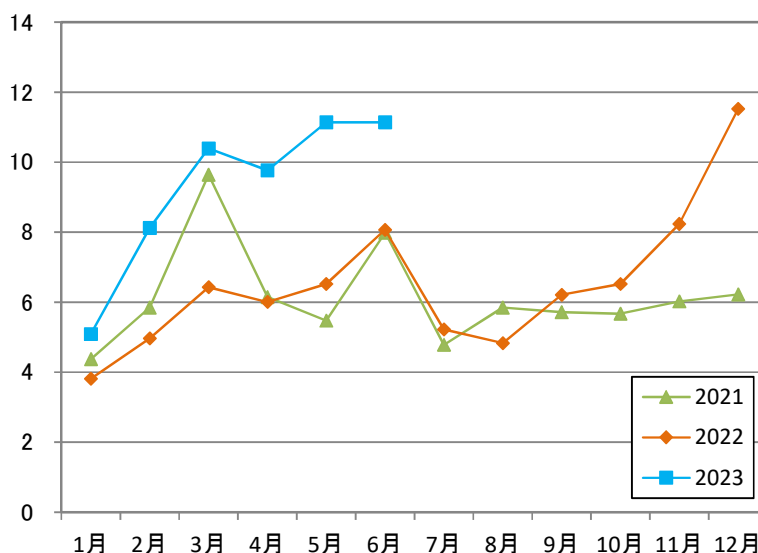


新車販売台数(6月)

(1)6月の新車販売台数は111,363台で前年同月比38.08%増。

(2)6月の内訳は乗用車が90,335台(前年同月比40.9%増)、小型商用車が21,028台(同27.3%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(6月)

(1)6月の住宅販売戸数は83,636戸で前年同月比44.43%減となった。

(2)6月は新築が25,886戸(前年同月比42.1%減)、中古が57,750戸(同45.4%減)。

(3)6月の住宅ローンでの購入は13,463戸(前年同月比66.8%減)、その他が70,173戸(同36.1%減)。

データ:統計庁 単位:万戸

